

PAT-NO: JP401315085A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01315085 A  
TITLE: OPTICAL DISK CARTRIDGE  
PUBN-DATE: December 20, 1989

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
HAGIWARA, HIROYUKI

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
CANON INC N/A

APPL-NO: JP63147541  
APPL-DATE: June 15, 1988

INT-CL (IPC): G11B023/03

US-CL-CURRENT: 369/291

## ABSTRACT:

PURPOSE: To protect the recording surface of an optical disk from the dust, fingerprints, etc., by blocking the light irradiation hole of an optical disk cartridge with a transparent member.

CONSTITUTION: The square or rectangular upper and lower cases 1a and 1b are put on each other at the end side part and fixed to each other. Then an optical disk D is rotatably stored into the cases 1a and 1b. The case 1a contains an oblong light irradiation hole 2 at the position of the recording surface of the disk D. Then the hole 2 is blocked with a transparent plate 4 made of an acrylic material, etc. At the same time, a protecting plate 5 having a larger area than the hole 2 is slidably attached to a level difference part 3 so that the plate 5 can open and close the hole 2. In such a constitution, the lock is released and the plate 5 is slid at recording and reproduction. Then the hole 2 is exposed via the plate 4 and the disk D is irradiated by the laser light. The plate 5 is closed and locked except the recording/reproducing state to protect the recording surface of the disk D from the dust, fingerprints, etc.

COPYRIGHT: (C)1989, JPO&Japio

⑭ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-315085

⑤Int. Cl. \*

識別記号

片内整理番号

④公開 平成1年(1989)12月20日

**G 11 B 23/03**

**Z-7436-5D**

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑤発明の名称 光ディスクカートリッジ

②特 願 昭63-147541

出 願 昭63(1988)6月15日

⑫発 明 者 萩 原 裕 之 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

⑦出 願 人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

④代理人 弁理士 日比谷 征彦

明 弘治 乙未

### 1. 是明の名林

光ディスクカートリッジ

## 2. 特許請求の範囲

1. 光学的情報媒体である光ディスクを内部に収納する光ディスクカートリッジにおいて、光照射孔を透明窓材で封鎖したことを特徴とする光ディスクカートリッジ。

### 3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、光信号により情報の記録又は再生を行う光学式記録再生装置において、情報媒体として用いられる光ディスクを簡便可能に収納する光ディスクカートリッジに關するものである。

【従来の技術】

光ディスクは、(1) 記録密度が高く1ビット当りのメモリコストが安価である、(2) 高速アクセスが可能である、(3) 光ヘッドと非接触で記録再生できるので耐久性が高い、といった長所を有

し、今後の情報産業における新しい媒体として注目されている。

通常、光ディスクを使用する場合には、情報記録面の保護のため、光ディスクを回転可能に収納する光ディスクカートリッジが提案されている。しかしながら、従来の光ディスクカートリッジは記録再生時に光照射孔から光ディスクが露出し、また記録再生時以外でも光照射孔を開塞するシャッターが容易に開いてしまうことがあり、光ディスクに傷が付いたり塵埃や指紋が付着したりして、データの破壊や記録又は再生エラーが生ずることがある。

【発明の目的】

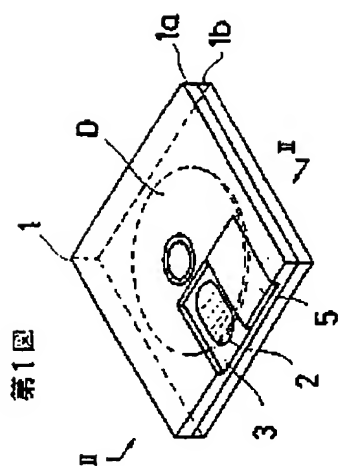
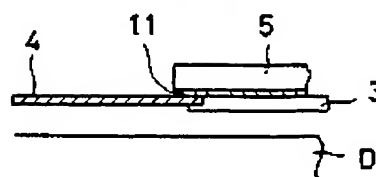
本発明の目的は、上述のような従来例の問題点を改善し、光ディスクを傷、塵埃及び指紋等からより確実に保護し得る光ディスクカートリッジを提供することにある。

【發明の概要】

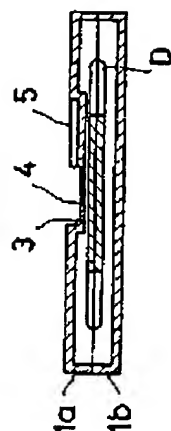
上述の目的を達成するための本発明の要旨は、  
光学的記憶媒体である光ディスクを内部に収納す



代理人 井理士 日比谷 証 書



## 第2圖



### 圖 3 據

